

MLレポート VOL.33(2022.8.1)

志賀光法(しがみつのり)の市議会報告

後援会事務所:〒754-1311宇部市大字小野8265-11 TEL/FAX64-5066

ホームページ: <http://genki.city-ube.jp> メール: genki@city-ube.jp

宇部市を
元気に!

《ごあいさつ》

コロナ禍においてはじめて制限の無い夏を迎えましたが、山口県、宇部市においては連日、感染者が過去最高人数を更新するなど第7波の大きな波、感染拡大が続いていますが、3度目のマスクをつけての暑い夏を過ごすことがつらいと実感される方は多いとは思いますが、感染対策については特に換気が重要であると言われていまして、換気と基本的な感染防止対策を徹底し、コロナに負けずに今年の暑い夏を乗り切っていただきますようお願い致します。私自身は3年ぶりに開催されることになったイベント等で通常の忙しい夏となっておりますが、これまで同様に『世の為人の為 誠実に そしてまっすぐに!』をモットーに 市民の皆様との接点を大切に議会が本来果たすべき役割、チェック機能を十分に果たして行きます。今年は選挙、議会、イベント等の対応により発行が遅くなりましたが、志賀光法の市議会報告ABU、MLレポート VOL.33、県・北部地区予算版VOL. 34を作成しましたのでお送り致します。

宇部市議会議員 志賀光法



志賀光法の市民活動・ボランティア活動



阿武町で3年ぶりに開催されましたABU道の駅フェスタ、第3回ABUスイムラン大会、山口県トライアスロン連合としても本格的な大会は3年ぶりということもあり安全に運営できるか心配しましたが、遠くは埼玉県など県外からも多くの参加いただきました選手の皆様のご協力もあり小さな事故、ケガもなく大会を終了することが出来ました。写真はリレーの部の表彰のプレゼンターをさせていただいた時のものです。



長門市のさやわか海岸で開催されました長門ヨットフェスタ、キッズトライアスロン大会は久留米市からの参加者もあり小学校低学年の部、高学年の部ともに参加者全員が完走してくれました。暑い中ではありましたが、地元高校生のボランティアの協力もあり無事終了することができました。私は開会式と閉会式で山口県トライアスロン連合を代表して挨拶と講評をさせていただきました。

お茶まつりや旧楠町でイベントや学校での林業教室で宇部林業研究会のメンバーとして木工教室を行っています。写真は昨年秋に旧吉部小学校で開催されましたイベントで宇部市の間伐材を利用した木工品を子どもを対象に作るお手伝いをしました。

子どもの体力調査結果が公表されましたが、山口県の小学生の状況は平成20年頃から体力合計点は男子は横ばい、女子は上昇傾向にありましたが、コロナ禍でのR1年、R3年の数値は平成30年と比べると男子が総合点54.2ポイントから52.5ポイント、そして女子が55.9ポイントから54.7ポイントと急降下しています。中学生も同様で、その要因は運動時間の減少、学習以外のスクリーンタイムの増加、肥満である児童生徒の増加の3点があげられ、スクリーンタイムとはテレビ、スマホ、ゲームの視聴時間のことです。以前から山口県は全国平均より低く、宇部市はその県よりも低い状況と聞いていましたので昨年、子どもの体力向上プログラムACPの指導者資格を取得しました。これからあらゆる機会ACP(アクション・チャイルド・プログラム)で子どもの体力向上に向けて活動します





議員質問

3月議会は代表質問があり会派で取りまとめて代表者が質問いたしますが、その他の6月、9月、12月議会では貴重な機会を逃すことなく質問いたします。以下執行部との主なやり取りを記載しますが、詳しい内容につきましては宇部市議会のホームページから議事録で検索してご覧いただくか、右のQRコードをスマホで読み取っていただき議会中継をご覧ください。

令和3年9月議会『新型コロナウイルスから市民の命と生活と医療を守るために』

「Q」新型コロナワクチンの確保の状況と接種の見通しは？

「A」接種対象者の2回接種分の85%を確保し10月末までに2回接種が完了するよう進める。

「Q」妊婦とその家族の優先接種は？

「A」7月14日から妊婦を含めて希望するすべての人の予約を受け付け対応している。

「Q」自宅療養者への支援は？

「A」宇部市では14か所の医療機関が協力して対応しているが不足している物資や困り事への対応を県と協力して必要な支援を検討する。

「Q」小中学校における自主休校の状況とその対応は？

「A」感染の不安を感じる等の理由で自主休校している児童生徒が56名いる。その対応として学習プリントの配布や学校と家庭をつないだ双方向によるオンライン授業を行う。その場合は出席停止となり欠席扱いにはならない。

「Q」県の飲食店等に休業・時短要請に応じる事業者へ市独自の事業者への支援を！

「A」県の協力金を受けた飲食店等に対して、10万円の上乗せ支援を合わせて、一か月の家賃の5分の2以内、上限10万円の支援、また、要請に協力した飲食店に対して酒類や食材等を納入されている事業者には、対象期間における、前年または前々年度売上対比30%以上減少を要件に減少した売上金額の2分の1以内上限30万円の支援を行います。

令和3年12月議会『ウィズコロナからアフターコロナへの対応と有害鳥獣対策について』

「Q」宇部市のワクチン接種を2回終えた人数は

「A」12万6717人で接種率は85.2%

「Q」3回目のワクチンの追加接種のスケジュールは

「A」12月1日から医療従事者への接種を開始、令和4年1月から65才以上の高齢者と64才以下の基礎疾患のある方への接種を開始し、64才以下の方は3月から接種予定です。

「Q」飲食等の行動制限緩和は

「A」県は11月25日に県外移動や会食、イベントの収容定員などの行動制限を緩和しました。

「Q」安全で安心して会食ができるやまぐち安心飲食店の市内の店舗数は

「A」12月2日時点で571店あります。怖がり過ぎないで、個人で気を付けながら楽しんでほしい。

「Q」サル的大型捕獲罠の設置状況と捕獲実績は

「A」小野、吉部、万倉の3地区に大型のサル捕獲罠を設置していて令和元年度が45頭、令和2年が21頭、令和3年度22頭です。

「Q」サルが農地だけでなく、幹線道路や生活エリアにも出没が見られサルの個体数や群れの数が増えているのか被害が深刻となっている、移動可能な小型のサルの捕獲罠の設置ができないか

「A」サルの目撃情報が広い範囲から寄せられており地元からも声が上がっているため、令和4年度の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、あらたに小型サル捕獲罠を導入することについて地元と協議を進めていく。

令和4年6月議会『国道2号のバイパス等の早期実現と宇部市特認校就学制度について』

「Q」国道2号のバイパス等の早期実現について

「A」交通量が多く、カーブや峠等見通しが悪い区間もあり、渋滞や交通事故も発生していることから市としても対策の必要性を認識している

「Q」割木松、逢坂間の約17kmについては地元の声をしっかりと聞いて地元、経済界、関係機関と連携してバイパス等の道路改良実現に向けて対応していただきたい。

「A」地元も含め関係者と合意形成を図りながら国への要望を検討していきたい。

「Q」宇部市特認校就学制度のこれまでの実績と評価、そして課題と今後の対応は

「A」平成17年度から導入し、これまで述べ249人の利用があったが、一部の学校に利用が偏るなどの課題があり、学校や地域からこの制度の周知の徹底や通学方法の工夫などの要望があがっている、今後はSNS等の活用など、情報発信の工夫をしながら、特認校の利用について、さらなる周知を図っていきます。また特認校の在り方や方向性について、現在、教育委員会がすすめている学校の適正規模・適正配置と併せて検討していきます。

「Q」特認校対象地域への移住促進支援は

「A」特認校が位置する北部地域において引越し助成金の上限枠の拡大や家財撤去助成金の適応など優遇した移住促進支援を行っている。

「要望」子育て世帯への助成金の上乗せや入居の際の改修費用助成金創設を要望します。